

未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225
 7月供給高 5150.9万円 (前年比 105.2%)
 7月組合員数 3,037人 (前年比 106.0%)

生活クラブ奈良

検索してみてください

議案 (賛成多数により、すべて承認)

- 第1号議案 2017年度活動報告承認の件
- 第2号議案 2018年3月5日付「みなし脱退」処理に関する理事会決定の報告承認の件
- 第3号議案 2017年度決算報告及び剰余金処理案承認の件
- 第4号議案 2018年度活動計画及び事業計画案承認の件
- 第5号議案 2018年度役員報酬限度額承認の件
- 第6号議案 役員退任慰労金支払いに関する件
- 第7号議案 役員補充選出の件



(理事長 甲斐京子)

生活クラブはF(食)・E(エネルギー)・C(福祉)のそれぞれの分野でみんなが力を合わせて取り組むことを方針化しています。今の奈良に一番欠けているのは「地域での組合員同士のつながり」です。今年度は「エッコロ共済」という仕組みを道具にして進めていくことを提案します。

2018年6月13日(水) 10:00~12:15
 やまと郡山城ホール(レセプションホール)にて
 第12回 通常総代会が開催されました。
 総代100名中、出席総代は99名でした。
 (本人出席36名・書面議決書出席62名・委任状出席1名)

「地域での人と人のつながりを」

専務理事 就任あいさつ

前身である「ウィルコープなら」立ち上げから「尽力いただいた前任の立石昭彦より重大な任を引き継ぎ、身の引き締まる思いとともに、これからの生活クラブ奈良の姿を思いめぐらせる毎日です。生活クラブという協同組合が奈良に存在する意味を考えると、それは私たちが生活している地域の課題を「当事者性」を持って考える、解決していく仕組みが生活クラブにあるということなのではないでしょうか。

「食・エネルギー・福祉」など私たちの生活に関わる分野において一緒に活動できる場があること、組合員をはじめとして生活クラブに関わる人が笑顔になることが皆さんと目指したい生活クラブの姿のひとつです。

生活クラブでは「消費材」という共通事項が強みのひとつとしてありますが、その食の安全を取り巻く状況は日に日に厳しくなっているように感じます。39%に落ち込んだ国内自給率。4月の種子法の廃止。食品表示の「遺伝子組み換えでない」との表示が消えるかもしれない事態。ゲノム編集

技術の確立による不安。など本場に多くの問題があります。もっと身近で深刻な後継者不足という問題もあります。国外に目を向けてもTPP11や日欧EPA、日米FTAなど食の流通に大きく関わる事象が国内農業に及ぼす影響が心配されます。これらのことを考えると国内外情勢は私たちの食卓と常に繋がっていると言えます。

また、昨今の異常ともいえる気候事象や地震などの災害は私たちが手にする農産品はもちろん、私たちの生活そのものに大きな影響を与えています。今までとは全く異なった事態が身近で起こる可能性があるという意識を持つことが必要になっていきます。

それらの課題に対して「まず私たちは何をすべきか」を考えたいとき、「知る・調べる・行動する」ことが大事なのではないでしょうか。

先日のカンブリア宮殿の放映では多くの反響があり、多くの組合員を迎えることができました。私たちがしっかりと生活クラブのことを伝え、知るきっかけを作ることの大切さを痛感しました。同時に「当事者性」「積極性」を持って活動できる仕組みづくりの構築が急がれると感じています。組合員、職員が生活クラブという組織を通して「10年

今年度の主な活動予定

- 8月 2日(木) 村上日苗さん(福島県飯館村より避難)お話し会(リフレッシュツアー)関連
- 8月28日(火)~31日(金) リフレッシュツアー
- 9月12日(水) 奈良県つくばね発電所見学(奈良県生活協同組合連合会主催)
- 9月28日(金) 竜おうみ米 稲刈り見学(理事研修)
- 10月 4日(木) ネグロスツアー報告会(大阪 関西6単協共催)
- 10月 7日(日) パラマウント足と靴の相談・販売会
- 10月26日(金) ビオサポ子どもラボ研修(理事研修)
- 11月18日(日) 「奈良フェスタ」
- 12月 3日(月) ㈱コーミ工場見学
- 1月~2月 食品表示法関連講演会(予定)



大貫道代(中・南部エリア)
 美味しく食べて、安心して食べる事が出来る『卵』と『牛乳』を探し求め、出逢い・・・今では沢山の生活クラブの消費材に支えられている毎日です。

組合員になってから学んだ事、考えさせられた事を、少しずつ形にして、『奈良』らしい生活クラブの活動を、皆さんと共に楽しんでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



先にどんな世界になってほしいか」という思いを自分発の言葉で元気に語れることを目指していきたいと思えます。
 (専務理事 城本豊)

新しく理事になりました ともに考え、楽しみましょう

山口幸子(中・南部エリア)
 約7年前大阪から三郷町へ引越して来ました。高校生の頃チエルノブイリ原発事故があり、放射能汚染や環境問題を考えるようになったりました。

28年前、自然食レストランで玄米定食を食べたその美味しさにとっぴりはまり、マクロビ生活を始めました。専門の月刊誌を年間購読し、食べ物には自然食品店で購入。仕事にも出張にも玄米おにぎりや青汁持参で。その頃は友達や親にまで変人だと思われていましたが、私にとっては、食へのこだわりは大事な事でした。

私にとって生活クラブは正直、ベストではないがベターだと感じていました。他の組合員にとってもそうではないでしょうか？皆にとって、今より更にベターになって欲しいと願い、一緒に考え、活動していきたいと思えます。

「リフレッシュツアー」開催
 2018年8月28日(火曜日)~8月31日(金曜日)
 福島の組合員とその家族のために、初めて取り組みます。放射能汚染を気にすることなく、子ども達は外で思いっきり遊び、大人達はほっこりと、奈良でのびのびと過ごしていただければと思います。カンパや、お手伝いスタッフを募集しています。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

「奈良フェスタ」(仮称) 開催決定
 2018年11月18日(日曜日) 11時~14時 奈良県文化会館にて
 参加予定は約28生産者です。試食と販売を予定します。生産者と直接会って、消費材への理解を深めましょう。初めて秋の開催です。今後、詳細はチラシで伝えていきます。

お知らせ!

